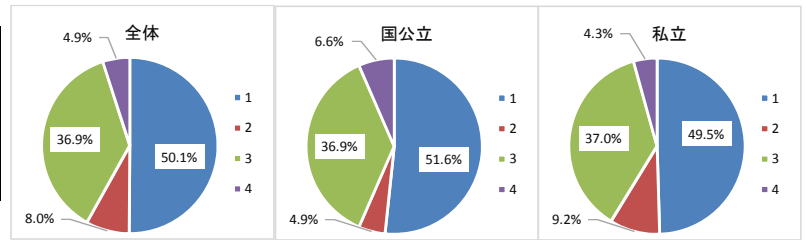


「卓越する大学」高大接続改革アンケート

2016年 5月実施（大学対象）
総回答数：425校（国公立122校、私立303校）

Q1. 高大接続システム改革会議の「最終報告」が3月31日に発表されました。この最終報告に示された大学教育改革についてどのようにお考えですか。

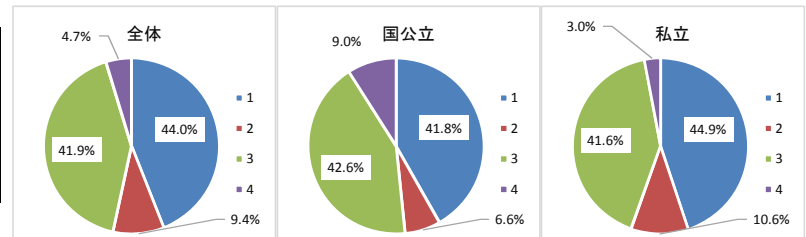
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 評価できる内容である	213	50.1%	51.6%	49.5%
2. あまり評価できない	34	8.0%	4.9%	9.2%
3. どちらとも言えない	157	36.9%	36.9%	37.0%
4. その他(未回答含む)	21	4.9%	6.6%	4.3%



★大学教育改革については、約半数の大学が「評価できる内容」としている。

Q2. 高大接続システム改革会議の「最終報告」が3月31日に発表されました。この最終報告に示された高等学校教育改革についてどのようにお考えですか。

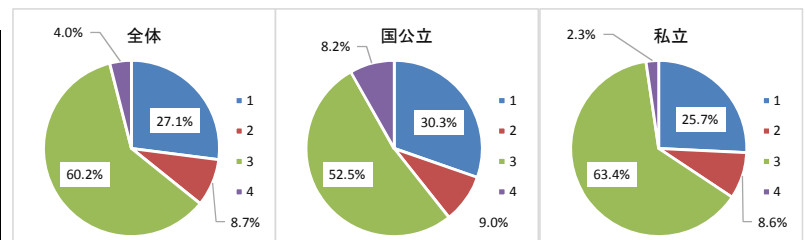
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 高等学校教育改革が前進する	187	44.0%	41.8%	44.9%
2. 高等学校教育改革はあまり進まない	40	9.4%	6.6%	10.6%
3. どちらとも言えない	178	41.9%	42.6%	41.6%
4. その他(未回答含む)	20	4.7%	9.0%	3.0%



★高等学校教育改革については、44%の大学が「改革が前進する」としている。

Q3. 高大接続システム改革会議の「最終報告」が3月31日に発表されました。この最終報告に示された大学入学者選抜についてどのようにお考えですか。

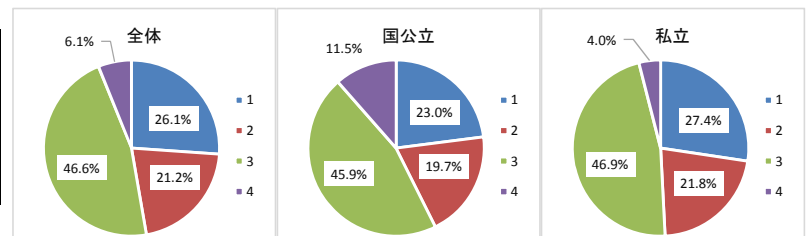
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 大学入学者選抜は大学が求める方向に向かう	115	27.1%	30.3%	25.7%
2. 大学入学者選抜は大学が求める方向に向かわない	37	8.7%	9.0%	8.6%
3. どちらとも言えない	256	60.2%	52.5%	63.4%
4. その他(未回答含む)	17	4.0%	8.2%	2.3%



★大学入学者選抜については、「大学が求める方向に向かう」という評価は全体では3割に満たない。特に私立大は25%程度に留まっている。

Q4. 入学者選抜において学力評価テストの導入から各大学の個別試験実施への指針等が示されましたが、今回の改革で多面的・総合的な評価が可能ですか。

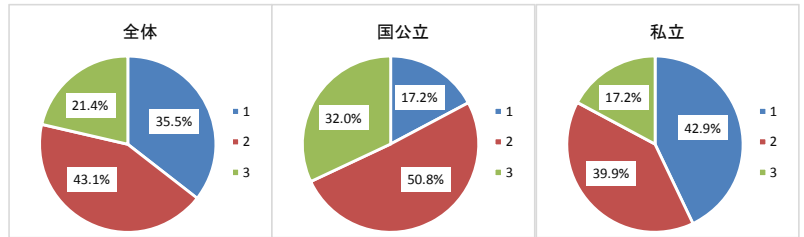
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 可能である	111	26.1%	23.0%	27.4%
2. 難しい	90	21.2%	19.7%	21.8%
3. どちらとも言えない	198	46.6%	45.9%	46.9%
4. その他(未回答含む)	26	6.1%	11.5%	4.0%



★多面的・総合的な評価は、「可能である」が26%程度に留まっており、国公立大では23%とより厳しい結果である。

Q5. 学力評価テストの複数回実施が先送りとなりました。複数回実施についてどのようにお考えですか。

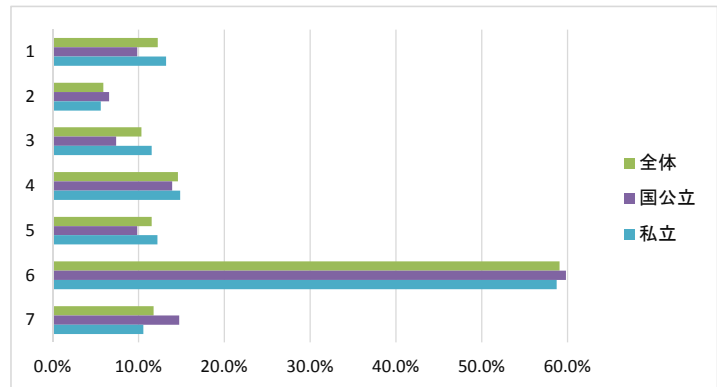
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 複数回実施は必要	151	35.5%	17.2%	42.9%
2. 複数回実施は不要	183	43.1%	50.8%	39.9%
3. その他(未回答含む)	91	21.4%	32.0%	17.2%



★評価テストの複数回実施には、国公立大は約半数が不要と回答したのに対して、私立大は43%が複数回実施が必要と回答。国公立大、私立大で意見が大きく分かれた。

Q6. 高大接続改革を受けて個別試験の入学選抜においてエッセイや面接等を新たに導入する予定はありますか。(複数回答)

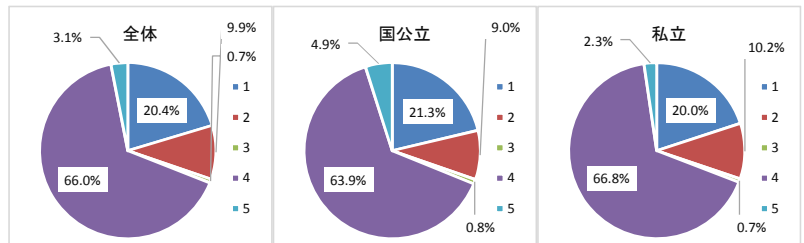
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 調査書以外に高校時代の活動履歴(資格・大会)	52	12.2%	9.8%	13.2%
2. エッセイ	25	5.9%	6.6%	5.6%
3. 大学入学希望理由書・学習計画書等	44	10.4%	7.4%	11.6%
4. 面接・ディベート・集団討論等	62	14.6%	13.9%	14.9%
5. 導入予定はない	49	11.5%	9.8%	12.2%
6. 未定・検討中	251	59.1%	59.8%	58.7%
7. その他	50	11.8%	14.8%	10.6%



★エッセイや面接等の新たに導入するのについては、約6割の大学が未定・検討中と回答した中で、国公立大では「面接・ディベート・集団討論等」だけが10%以上が導入予定と回答したのみだったが、私立大では「面接・ディベート・集団討論等」「調査書以外に高校時代の活動履歴(資格・大会)」「大学入学希望理由書・学習計画書等」が10%を超えており、より積極的な回答が見られる。

Q7. 高大接続改革を受けて個別試験において従来の筆記試験を大きく変える予定はありますか。

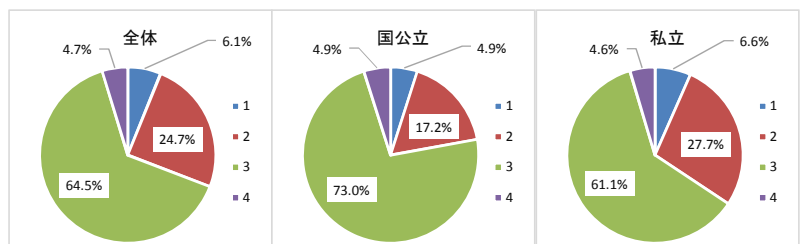
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 従来通りの筆記試験で十分対応できる	87	20.4%	21.3%	20.0%
2. 筆記試験は実施するが記述式や論述式を増やす等、内容を変更する	42	9.9%	9.0%	10.2%
3. 筆記試験は実施しない	3	0.7%	0.8%	0.7%
4. 未定・検討中	281	66.0%	63.9%	66.8%
5. その他(未回答含む)	13	3.1%	4.9%	2.3%



★筆記試験の変更については、約3分の2が「未定・検討中」と回答、「従来通り」が約2割で、「内容を変更する」と回答したのは約1割で、わずかに私立大の方が内容を変更するという回答が多い。

Q8. 入試における今後の調査書の評価(高校時代の活動)について。

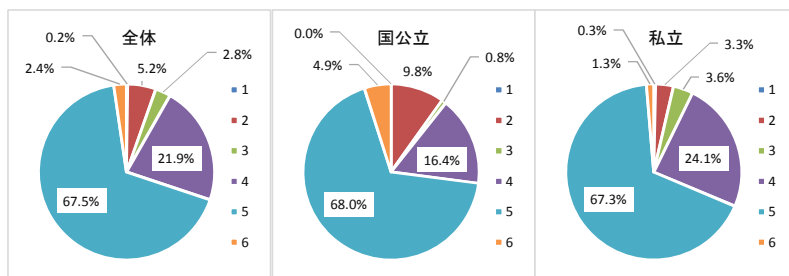
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 入試における合否評価への比重を上げる	26	6.1%	4.9%	6.6%
2. 今までと変わらない	105	24.7%	17.2%	27.7%
3. 未定・検討中	274	64.5%	73.0%	61.1%
4. その他(未回答含む)	20	4.7%	4.9%	4.6%



★調査書の評価については、合否評価への比重をあげるというのは6%程度。国公立大で7割以上、私立大で6割が未定だが、私立大では3割近くが「今までと変わらない」と回答。

Q9. 学力評価テストの成績が段階評価とされた場合に、その出願基準をクリアしている受験生に対してさらに個別試験受験者を絞り込むために2段階選抜を実施する可能性はありますか。

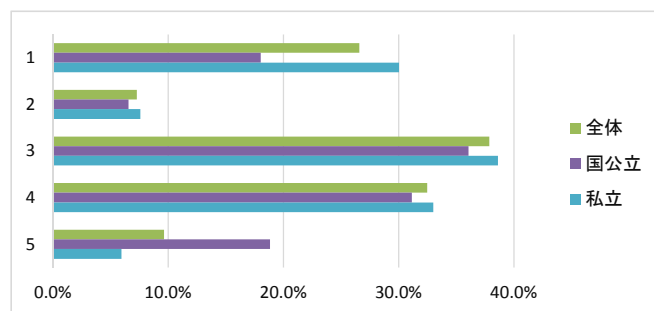
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 現在は2段階選抜を実施しているが、これを行わない予定	1	0.2%	0.0%	0.3%
2. 現在は2段階選抜を実施しているが、これを継続予定	22	5.2%	9.8%	3.3%
3. 現在は2段階選抜を実施していないが、新たに行う予定	12	2.8%	0.8%	3.6%
4. 現在は2段階選抜を実施していないが、そのまま行わない予定	93	21.9%	16.4%	24.1%
5. 未定・検討中	287	67.5%	68.0%	67.3%
6. その他(未回答含む)	10	2.4%	4.9%	1.3%



★ 2段階選抜の実施については、「未定・検討中」が3分の2の回答だが、現状と変更するという回答はごくわずかで、現状と大きな変化はみられない。

Q10. 学力評価テストが段階評価利用となった場合、大学入試はどう変わると思いますか。(複数回答)

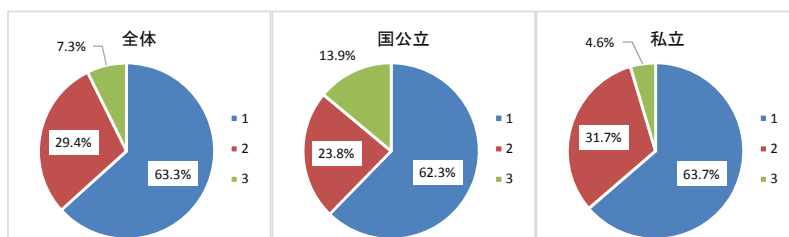
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 大学の序列化が進行する	113	26.6%	18.0%	30.0%
2. 大学の序列化が緩和する	31	7.3%	6.6%	7.6%
3. 大学の募集人員の管理が難しくなる	161	37.9%	36.1%	38.6%
4. あまり変わらない	138	32.5%	31.1%	33.0%
5. その他	41	9.6%	18.9%	5.9%



★ 学力評価テストの段階評価については、「募集人員の管理が難しくなる」が国公立大36%、私立大39%と最も多く、次に私立大では「大学の序列化が進行する」が30%と多い。約6割の大学が何らかの変化があると考えている。

Q11. アドミッション・カリキュラム・ディプロマの3つのポリシーの策定によって大学教育改革(内部質保証)は進むと思いますか。

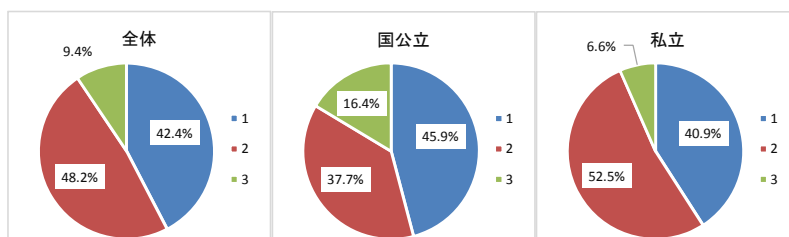
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 大学教育改革が進む	269	63.3%	62.3%	63.7%
2. あまり変わらない	125	29.4%	23.8%	31.7%
3. その他(未回答含む)	31	7.3%	13.9%	4.6%



★ 3つのポリシーの策定により、6割以上の大学が「大学改革が進む」と回答している。

Q12. アドミッション・カリキュラム・ディプロマの3つのポリシーの策定によって入学者選抜は大学が求める方向に進むと思いますか。

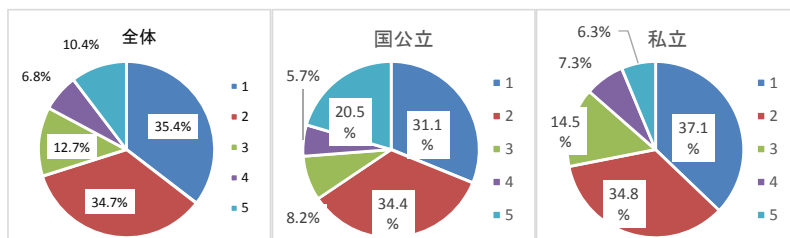
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 大学が求める方向に進む	180	42.4%	45.9%	40.9%
2. あまり変わらない	205	48.2%	37.7%	52.5%
3. その他(未回答含む)	40	9.4%	16.4%	6.6%



★ 3つのポリシーの策定により、約4割の大学が入学者選抜は大学が求める方向に進むと回答。国公立大では「進む」が「変わらない」を上回っているが、私立大では「進む」よりも「変わらない」が多い。

Q13. アドミッション・カリキュラム・ディプロマの3つのポリシーの策定準備は進んでいますか。

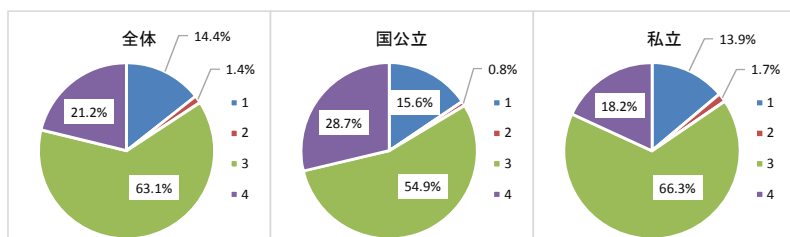
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 完了している	151	35.4%	31.1%	37.1%
2. 現在順調に進んでいる	148	34.7%	34.4%	34.8%
3. 現在進めているが苦慮している	54	12.7%	8.2%	14.5%
4. これから取り掛かる	29	6.8%	5.7%	7.3%
5. その他(未回答含む)	44	10.4%	20.5%	6.3%



★3つのポリシーの策定は、「完了している」「順調に進んでいる」を合わせると約7割であるが、一方で私立大では約15%の大学が「苦慮している」と回答している。

Q14. 丁寧な入試が求められています、今後入試にかかる予算や人員増の予定はありますか。

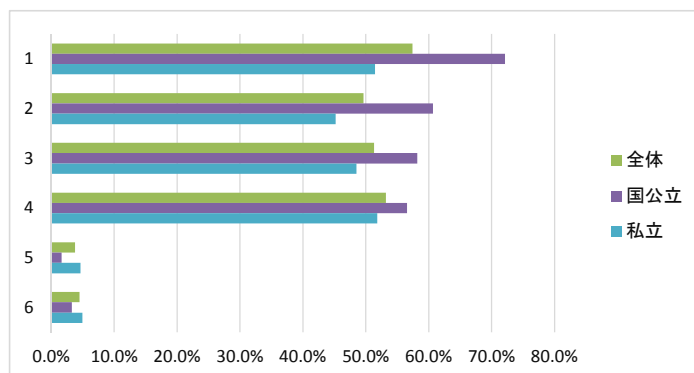
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 予算や人員を増やす	61	14.4%	15.6%	13.9%
2. 予算や人員を減らす	6	1.4%	0.8%	1.7%
3. 変わらない	268	63.1%	54.9%	66.3%
4. その他(未回答含む)	90	21.2%	28.7%	18.2%



★今後の入試にかかる予算や人員の増加については、国公立大の55%、私立大の66%が「変わらない」と回答。国公立大では16%が「増やす」と回答し、私立大よりは「増やす」の割合が大きい。

Q15. 今後どのような支援を文部科学省や新たなセンター(現大学入試センター)に求めていますか。(複数回答)

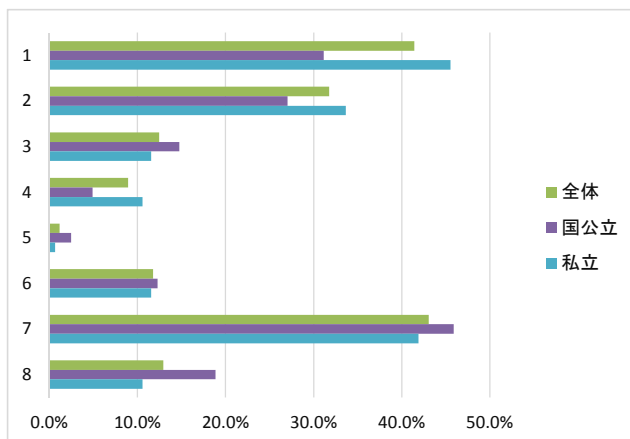
選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 財政的な支援	244	57.4%	72.1%	51.5%
2. 入学者選抜やアドミッション・オフィス強化の方法開発の支援	211	49.6%	60.7%	45.2%
3. 面接や集団討論等を含むテスト方法開発の支援	218	51.3%	58.2%	48.5%
4. 調査書の評価等を含む評価に関する方法開発の支援	226	53.2%	56.6%	51.8%
5. 支援は不要	16	3.8%	1.6%	4.6%
6. その他	19	4.5%	3.3%	5.0%



★文部科学省や大学入試センターに求めることは、国公立大では「財政的な支援」が7割以上、次に「入学者選抜やアドミッション・オフィス強化の方法開発の支援」が約6割で目立っており、支援を求める各項目は私立大より多く、文部科学省や大学入試センターの支援への期待が大きい。私立大は「調査書の評価等を含む評価に関する方法開発の支援」が52%と最も多く、入試の多様化への対応への支援への期待が大きい。

Q16. 学力評価テストの問題イメージ例について(複数回答)

選択肢	回答数	全体	国公立	私立
1. 大学が求める「思考力・判断力・表現力」が評価できる	176	41.4%	31.1%	45.5%
2. 大学が求める「知識・技能」が評価できる	135	31.8%	27.0%	33.7%
3. 大学が求める学力を評価できない	53	12.5%	14.8%	11.6%
4. 難しすぎる	38	8.9%	4.9%	10.6%
5. 易しすぎる	5	1.2%	2.5%	0.7%
6. 難易度は適当である	50	11.8%	12.3%	11.6%
7. 長年にわたって出題のレベル維持が難しい	183	43.1%	45.9%	41.9%
8. その他	55	12.9%	18.9%	10.6%



★学力評価テストの問題イメージについては、プラスの評価は、国公立大が私立大よりも低く、「大学が求める学力を評価できない」は国公立大15%、私立大12%と国公立大の評価が厳しい。また、私立大では「難しすぎる」が11%と国公立大の5%を大きく上回った。また、「長年にわたって出題のレベル維持が難しい」が全体で4割以上で、この点での不安が大きいことがわかる。